



## 募集要項

喜界島サンゴ礁科学研究所

喜界島サンゴ礁科学研究所は2014年に設立した私たちの研究拠点です。

私たちは世界中のサンゴ礁を巡り、喜界島にたどり着きました。長年、研究を進めていく中で、フィールドと実際に研究成果が生み出される場所が違うことに違和感を感じてきました。発展途上国では、美しいサンゴを研究するより、もっとお金になることでサンゴ礁を利用し、研究者も試料を採取した後の研究は、それぞれの国へ持ち帰ってからやってきました。しかし私たち研究者がフィールドワークをやる時は、どうしても地域の協力が必要です。しかし、地域の人自身はサンゴの面白さや楽しさを知らないし、大人がそうだと子どもたちにも伝わらないのです。研究所を立ち上げるということは、フィールドワークや分析から、それを一緒に議論する人も必要です。個人でできることには限りがあります。何をどのくらいまで残せるのかということを考えた時に、喜界島は既に自然と歴史が「残されている場所」だと気づきました。それらをサンゴ研究の成果を含めて、100年後に残すということを考えました。10年後だと「そんな近況の話は関係ない」という反応になるかもしれないけれど、「100年後」というと、直接の利益や利害がないので俯瞰的に見てくれて、みんなが「100年後って夢があるじゃないか」と協力をしてくれるようになりました。

では、どうやって100年後に残すかを考えた時に、やっぱり我々より確実に長生きするのは子どもたちだから、島の子どもたちにサンゴのことを教えました。すると、やっぱり子どもたちの感性はすごかったのです。少し教えただけで、今まで石ころだと思っていたものを「これサンゴでしょ？」って研究所に走って持ってきてくれました。その時思ったのは、子どもたちには本物を見て感じてもらうことが必要だということでした。その「本物」は、自然だけじゃなくて、我々みたいな研究者も本物として見せてあげることだと思いました。そうやって、きっかけを与えるだけで、子どもたちが自分で吸収することがわかったので、今度は島の中だけじゃなくて、外からも集めようということになり、サイエンスキャンプを始めました。都会から来た子どもたちも、やっぱり順応力は素晴らしく、すぐに島の子どもたちと仲良くなり、研究発表会も立派に行いました。それを見る研究者も「そういうのは楽しそうだから」って自分でお金を出して海外から来てくれました。そうして、喜界島サンゴ礁科学研究所は自然に世界中から人が集まる学びの場となりました。

子どもたちも育っていき、そして地球環境や地域、サンゴ礁に興味のある多くの大学生・大学院生が今できるアクションを求めて、喜界島にきてくれるようになりました。その中で、研究所に関わっている学生たちの成長のスピードがとても早いことに気づきました。机の上の勉強は基礎として、とても大事だけれど、その知識を活かして行動するということは、大学という限られたコミュニティの中では限度があると感じました。普通、行政や事業者との打ち合わせに行く学生はなかなかいないと思いますが、島を拠点にしていると、人との協働の中で、暮らしや文化への理解、地域の仕組みへの理解、その中でいかに自然と共生していくか…、いろんなことが繋がっていきます。さらに喜界島に集まる学生が専攻する分野は多岐にわたっているので、研究室あるいは大学で学んでいる学生よりもいろんなことを違う視点で議論することができるでしょう。

こうして、生きたサンゴ礁とそこに住む人、そして最先端の研究を追求している研究者が集まる場所ができました。それがKIKAI Collegeです。ここは次世代のグローバルリーダーを生み出せる場所だと私たちは考えています。リーダーとは何か、それはサンゴ礁が教えてくれます。私たちは一人の強いリーダーを生み出すのではなく、多様性の高いチームを形成し、困難に対応・適応していけるリーダーを育てたいと思っています。サンゴは5億年にわたり地球上に存在しています。その間には地球は大きな気候変動を繰り返していたでしょう。サンゴ生態系というコミュニティは一種類のサンゴが強かったのではなく、その時、その時に適応できたサンゴがコミュニティを守り、その役割をそれぞれ果たしてきました。

喜界島は地球のモデルです。ここで起きている問題は世界のどこに行っても起きているでしょう。そして、この島で学んだことをみなさんが世界中の地域で取り組んだら、地球の未来を変えられると私たちは思っています。KIKAI Collegeは100年後に残したい未来をともに考え、行動する集団です。

渡邊 剛・山崎 敦子

## 目次

### 1 募集要項

- 1.1 コース
- 1.2 受講資格
- 1.3 募集人数
- 1.4 受講期間
- 1.5 申込み方法
- 1.6 選考方法
- 1.7 選考結果の発表
- 1.8 入学金・受講料
- 1.9 コースの修了について
- 1.10 受講方法

### 2 履修科目

- 2.1 プログラム
- 2.2 開設科目

### 3 修了要件

### 4 その他

- 5.1 開講式
- 5.2 奨学金
- 5.3 特待生制度
- 5.4 受講説明会
- 5.5 研究科について
- 5.6 問い合わせ先

## 1 募集要項

### 1.1 コース

KIKAI カレッジには、以下の3つのコースがあります。

**本科** 修了目安：2～3年間

サンゴ礁とそれを取り巻く環境や人に関連する諸問題や課題を理解し、それらを総合的に捉えて解決する力を身につけます。

**専科** 修了目安：2年間

サンゴ礁とそれを取り巻く環境や人に関連する諸問題や課題を理解し、新たな課題への挑戦と問題解決のための総合的な力を身につけます。また、サンゴ礁科学を修めリードして行く能力を身につけます。

#### **特科** 修了目安：3 年間

環境や人の諸問題や課題を多角的に理解し、多分野に影響を与えうる新知見を発見する力を身につけます。さらに、新たな分野や方向性を創設、開拓できる能力を養います。博士の学位をとることができます。

#### **科目受講生**

### **1.2 受講資格**

各コースの受講資格は以下の通りです。

#### **本科**

高校卒業以上、もしくは、サンゴ塾（予科）を修了した方

#### **専科**

大学卒業以上、もしくは、本科を修了した方

#### **特科**

大学院卒業以上、もしくは、専科を修了した方

※受講資格を満たせば、短期間（半年間～）での受講が可能です。ただし、修了には修了要件（3. 修了要件を参照）を満たす必要があります。

### **1.3 募集人数**

本科 10 名

専科 5 名

特科 5 名

### **1.5 申込み方法**

#### **申込み受付期間**

随時

#### **申込み方法**

受講を希望する方は、申込みの受付期間中に KIKAI カレッジウェブサイトから所定のフォ

ームに入力して送信してください。記入されたメールアドレスに受付完了メールを返信します。このメールが届かないときは、研究所にお問い合わせ下さい。(問い合わせ先は 1.11 を参照)

## 1.6 選考方法

書類審査と面接で選考します。書類審査後に面接を個別で設定します。

※応募者の方には、面接に都合のよい日時を応募フォームに記入していただきます。この 2 日のいずれも都合が悪い特別な事情があるときは、その旨ご記入下さい。対応可能な範囲内で事情を考慮することがあります。

## 1.7 選考結果の発表

受講の 1 週間前までにメールにてお知らせします。

## 1.8 入学金・受講料

### 入学金

KIKAI カレッジの入学金は以下のとおりです。

100,000 円

※すでにサンゴ塾・インターンシップを受講されている方は、入学資格を有し、入学金が免除されます。

### 受講料

各コースの受講料は以下の通りです。

本科・専科・特科 25,000 円/1 単位

※このほかに、一部の授業で、教科書もしくは参考書を購入していただくことがあります。また、フィールドワークの交通費や滞在費は、原則として実費を負担していただきます。※奨学金制度を利用して受講することができます。詳しくは奨学金 (5.2) を参照ください

## 1.9 コースの修了について

修了要件を満たした方には「修了証」を授与し、それぞれの修了科目に応じて、日本語および英語での能力の認定を行います。

## 1.10 受講方法

講義は喜界島サンゴ礁科学研究所、またはオンラインで受講できます。

ただし、実習は喜界島サンゴ礁科学研究所で行うため、オンラインでは受講できません。喜界島サンゴ礁科学研究所で受講される方は、実習やフィールドワーク以外でも研究所の設備を使用することができます。喜界島での受講については、別途島留学に関するパンフレ

ットをご参照ください。

※オンラインで受講される際、インターネットに接続可能なパソコン、タブレットが必要です。

## 2 履修科目

### 2.1 プログラム

KIKAI カレッジは感じる・見つける・伝える・残す の4つのプログラムからなり、この4つのプログラムを総合的に習得することを目指します。各プログラムに分類される科目には1つ以上のプロジェクトが属しており、プロジェクトは喜界島サンゴ礁科学研究所の事業と結びついています。受講生はプロジェクトの実践を積み重ねることにより、プロジェクトの立案から実施までの過程を習得します。

### 2.2 開設科目

各プログラムの講義、科目は以下の通りです。それぞれの科目に個別のプロジェクトが属し、習得単位数は単位×プロジェクト数により算出します。

プログラム	科目	単位	期間	区分
感じる	インターンシップ	2	1ヶ月	必修
	サンゴ礁地球環境学実習Ⅰ	2	前期集中	必修
	サンゴ礁地球環境学実習Ⅱ	2	後期集中	選択
	Transdisciplinary research seminarⅠ	2	半年	必修
	Transdisciplinary research seminarⅡ	2	半年	選択
	コミュニケーション	2	集中	選択
	科学とアート（演劇・音楽・舞踊・写真・絵画・デザイン・アーススポーツ）	2	集中	選択
	人と自然の変遷学	2	1/4	選択
見つける	本科特別研究	4	1年	選択
	専科特別研究	8	2年	必修
	特科特別研究	12	3年	必修
伝える	科学とアートの融合・共有・実践	2	半年	選択
	環境保全方法論	1	1ヶ月	選択
	サイエンスコミュニケーション実践講座Ⅰ	1	1ヶ月	選択
	サイエンスコミュニケーション実践講座Ⅱ	2	1/4～1年	選択
	実践科学英語Ⅰ（論文輪読）	2	1/4	選択

	実践科学英語Ⅱ（小論文執筆）	2	1/4	選択
	シンポジウム・ワークショップ実践講座	2	1/4	選択
残す	社会実装実践講座（政策・教育・商業）	2	1年	選択
	論文・出版講座	2	半年	選択
	地域コミュニティ実践講座	2	半年	選択
	アート・デザイン・展示制作講座	1	1/4	選択
	海外展開講座	2	1年	選択

※各研究プロジェクトには定員があります。

### 3 修了要件

各コースを修了するためには、下記の修得要件を満たす必要があります。

#### 本科

感じるプログラム、残すプログラムからそれぞれ、必修科目、選択科目を12単位以上修得。  
 見つけるプログラム、伝えるプログラムの選択科目のプロジェクトを10単位以上修得。合計22単位以上習得すること。

プログラム	区分	単位数
感じる	必修	4単位
	選択	2単位
見つける（本科研究）	選択	10単位
伝える		
残す	選択	6単位

#### 専科

感じるプログラムから必修科目、選択科目を4単位以上取得。見つけるプログラムの専科研究は必修とする。伝えるプログラムの選択科目（プロジェクト）を4単位以上修得。残すプログラムのプロジェクトを2単位以上取得。合計18単位以上を取得。

プログラム	区分	単位数
感じる	必修	2単位
	選択	2単位
見つける（専科研究）	必修	8単位
伝える	選択	4単位
残す	選択	2単位

## 特科

見つけるプログラムの特科研究を必修とし、合計 14 単位以上を取得。

プログラム	区分	単位数
見つける（特科研究）	必修	12 単位
残す	選択	2 単位

## 5 その他

### 5.1 開講式

日 時 四半期ごと（4 月、7 月、10 月、1 月）の開講日に行います

会 場 喜界島サンゴ礁科学研究所

- 特別講義
- ガイダンス

※ オンラインでの参加も可能です。全国から仲間が集まる数少ない機会ですので、現地での参加を推奨します。

### 5.2 奨学金

受講するプロジェクトに応じて奨学金が給付される場合があります。

### 5.3 特待生制度

特待生は特定非営利活動法人喜界島サンゴ礁科学研究所の准研究員に任命され、奨学金を得ながら KIKAI College のプロジェクトを実施することができます。

一ヶ月間のインターンシップを経験したのち、特待生への希望を申請することができます。申請者は KIKAI College の教員により審査を受け、合格したものには奨学金を給付されます。奨学金は能力や作業量に応じて履修にかかる費用（交通費、宿泊費）の支給を決定します。

### 5.4 受講説明会

受講生募集についてオンライン説明会を開催します。申し込み、詳細は KIKAI College ウェブサイトにて随時、確認ください。

### 5.5 修了後

喜界島サンゴ礁科学研究所では本科、専科、特科の修了生を積極的に職員として採用します。また、特科を修了後、喜界島サンゴ礁科学研究所研究部門の特別研究員として研究活動を継続することができます。各研究教育機関、団体、企業への推薦も積極的に支援します。

### 5.6 問い合わせ先



住 所 〒891-6151 鹿児島県大島郡喜界町大字塩道 1508

喜界島サンゴ礁科学研究所

電 話 0997-66-0200

e-mail : college@kikaireefs.org